

生誕450年

伊達政宗の生涯をたずねて

第12回 (最終回)

「伊達政宗騎馬像」

仙台市博物館 学芸普及室 二上玲子



初代騎馬像の制作

仙台城本丸跡に立つ伊達政宗騎馬像は、仙台のシンボルとしてあまりにも有名ですが、その騎馬像が二代目であることはご存知でしょうか。

最初の騎馬像は、伊達政宗の没後三百年を記念して一九三五年（昭和一〇）年に行われた「伊達政宗公三百年祭」の記念事業として、宮城県青年団によって、その制作が計画されました。銅像の建設場所や服装については議論を重ねた結果、仙台城本丸跡に甲冑騎馬像で建設、制作は宮城県柴田町出身で帝展委員も務めた彫刻家小室達に依頼することが一九三三年に決定します。依頼を快諾した小室は、史実の考証・馬の研究から始め、二年の歳月をかけ、騎馬像制作にあたりました。一九三五年、東京の伊藤鑄造所で完成した騎馬像は、高さ約四メートル、重さ四・八



今は上半身のみの残る初代政宗騎馬像 (仙台市博物館館庭)

トン以上と巨大な像で、トラクターに引かれ、仙台の地を目指し、五月二日に出発しました。沿道の県内市町村では、多くの人が「藩祖」の「お国入り」歓迎のために集まりました。そして一六日に本丸跡に到着。一八日に無事台座へと据え付けられ、二三日に「伊達政宗公三百年祭」のイベントとして、除幕式が盛大に執り行われました。

金属類回収令と銅像出陣式

それほど熱烈に迎えられた騎馬像でしたが、本丸跡を去る日がやってきました。戦争の激化に伴い、一九四一年（昭和一六）八月「金属類回収令」が出されると、仙台市でも様々な金属製品の回収が行われました。そしてついに、一九四四年一月に、政宗騎馬像も供出されることになりました。一月二二日、銅像前において「出陣式」が挙行されました。

前年の八月には、市長今村武志をはじめ、旧仙台藩領水沢の出身で元内大臣の斎藤実や元東北帝国大学総長の本多光太郎らの銅像五二基が仙台市集会室において「壮行式」を行い、供出されています。このとき市長の今村武志は、「銅像はやがて身を碎き、いわゆる玉砕して弾丸、戦車となり艦船、魚雷となって再起し、皇軍勇士と共に敵米英撃滅のため奮闘なされることに相成る」と挨拶していた。

騎馬像、再び

ます。政宗もまた「赤だすき」をかけ、戦地へと赴くべく、出陣式を執り行ったのでした。

敗戦後、一九四五年（昭和二〇）一月、郷土史家石川謙吾が、塩竈の金属集積所で、供出された金属の山のなかから、政宗騎馬像を発見します。石川は、騎馬像を救うべく奔走しますが反応ははかばかしくなく、翌年九月、ついには上半身のみとなってしまった像を石川自ら買い取ります。そして一〇月、秋季大祭宵祭の際に青葉神社へと奉納しました。一九六一年仙台城三の丸跡に仙台市博物館が開館するにあたり、青葉神社が博物館へと寄贈、その後博物館庭に設置されました。

一方、本丸跡には、一九五三年に白色セメント製の平服姿の伊達政宗像（柳原義達制作。現在は移転し、大崎市岩出山城跡に所在）が建てられました。しかし、騎馬像を望む声が強まり、一九六三年、仙台観光協会が復元を決定します。すでに制作者の小室はこの世を去っていましたが、柴田町に銅像の原型が残されており、初代の像と同様の姿で再現することができました。一九六四年一〇月に完成、本丸跡において除幕式が行われました。

こうして、新旧騎馬像が仙台城の地に再びよみがえったのです。

※本稿では仙台市博物館の学術研究機関たる立場から歴史上の人物名に敬称を付しておりません。

次号からは新コーナー「仙台藩 歴代藩主の横顔」がスタートします。ぜひ、ご期待ください。

博物館休館のお知らせ

12月28日(木)~2018年3月30日(金)

館内設備改修工事のため、上記期間を休館とさせていただきます。ご不便をおかけしますが、ご了承くださいませようお願いいたします。

《休館中のお問合せ先》

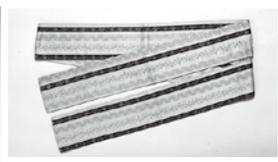
電話:022-225-3074

(月~金 9:00~16:45)

FAX:022-225-2558

※再開後、平成30年度の展覧会予定などにつきましては、決まり次第博物館ホームページや各種広報物でお知らせします。

旬の常設展2017秋冬 生誕450年—伊達政宗と家臣たち ほか



(左)重要文化財 黒漆五枚調具足 伊達政宗所用
(上)重要文化財 縞モール地花鳥文様帯(三沢初子所用帯のうち)
(いずれも仙台市博物館蔵、展示期間:12/19~12/27)

今年最後となる伊達政宗所用具足の実物展示(12/19~12/27)をはじめ、政宗を支えた家臣たちに関する資料を展示します。他にも、重要文化財の三沢初子所用帯(12/5~12/27・展示替あり)や仙台出身の横綱・二代目谷風梶之助関連資料などを紹介します。

◇観覧料:一般・大学生:460円(360円)、高校生:230円(180円)、小・中学生:110円(90円)

※()内は30名以上の団体料金。このほか各種割引があります。詳しくはお問い合わせください。

◇休館日:毎週月曜日、12/28~3/30 ◇開館時間:9時~16時45分(入館は16時15分まで)

仙台市博物館
SENDAI CITY MUSEUM

〒980-0862 仙台市青葉区川内26番地(仙台城三の丸跡) ▶ツイッター @sendai_shihaku

TEL:022-225-3074

仙台市博物館

検索